

## ポイント間隙・点火時期の点検

点火時期が狂っていると馬力、加速不良となります。

### 1・4ポイント間隙点検は

クランクシャフトを回してコンタクトブレイカーのスリップ一面をポイントカムが一番高いところに合せ、この時ポイントキヤップが0.3~0.4mm(ピースの紙厚)あれば正規です。狂っている時はピースaをゆるめブレイカーを動かして行ないます。

### 2・3ポイント間隙も同様に行ないます

ポイント接点面が汚損している場合はポイントファイナルまたはオイルストーンで修正します。

### 1・4点火時期の点検は

クランクシャフトを回しエンジンキーを“ON”にしてスパークアダバンスアーの1・4 Fマーク(上死点前10°)を合マークの刻印に合せたときポイント接点から火花が出れば正規です。狂っている時は1・4 Fマークを合マークの刻印に合せた状態でピースbをゆるめベースdを左右に動かしてポイント接点より火花の出る位置に合せます。2・3 FマークはピースCをゆるめベースeで調整します。

詳細な調整はサービステスターの揃っているホンダSFで行ないましょう。

